

タイプ 熱硬化性合成樹脂

- 特長
- ① 圧縮強度に優れる。
圧縮強度……………200MPa(試験方法ASTM D-695準拠)
 - ② 圧縮弾性率……………8110MPa(試験方法ASTM D-695準拠)
 - ③ 熱変形しにくい
クリープ歪み変化率…-0.14%(試験方法ASTM D-621準拠)
 - ④ 曲げ強度…………… 217MPa(試験方法ASTM D-580準拠)
 - ⑤ 弾力性の曲げ弾性率・ 307MPa(試験方法ASTM D-580準拠)
 - ⑥ 引張強度…………… 30.2MPa(試験方法ASTM D-638準拠)
 - ⑦ 剪断強度…………… 72.5MPa(試験方法ASTM D-732準拠)
 - ⑧ 耐衝撃性…………… 1.6kJ(試験方法ASTM D-256準拠)
 - ⑨ 耐火性…………… 自己消火性材料
 - ⑩ バーコル硬度…………… 57(試験方法ASTM D-2583準拠)
 - ⑪ 混合物の粘度が低く、作業性に優れる。

用途 船舶エンジン下部、船尾管軸受部、ラダー軸受部、ベアリング軸受部 他

塗料性状	混合比率(質量比)	主剤：硬化剤* = 100：9
	色	ブルー
	密度	1.59g/mL (ISO:2811)
	容量NV (VS)	99%以上
	重量VOC	3.3wt% (Method24)
	塗付量(理論値)	g/m ²
	膜厚	ウェット 12 ~ 55mm ドライ 12 ~ 55mm

		15℃	20℃	25℃
乾燥時間……	指触硬化	—	—	—
塗装間隔……	最短 最長	48時間	24時間	18時間
可使時間……	**	40分	30分	25分

塗装条件	塗装方法	施工要領書をご参照ください
	気象	温度:13~35℃、湿度:90%RH以下
	シンナー	エポキシ用シンナーA(洗浄用)
	適合下塗	—
	適合上塗	—

- 使用上の注意
- ① 膜厚が55mmを超える場合は、別途ご相談ください。
 - ② * 主剤・硬化剤の比率は、施工要領書のガイドラインを参照して決定してください。
 - ③ ポットライフが短いので、施行手順に従って必要量混合し使用してください。
(* * 混合物の液温が50℃に達するまでの時間)
 - ④ 使用時の樹脂温度が20℃未満の場合は、主剤を加温して使用してください。
 - ⑤ 板温13℃以下の場合は、施工箇所を加温してください。
 - ⑥ バーコル硬度による硬化確認の管理基準は「35~65」です。
 - ⑦ SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱いください。

CMP ライナー ブルー (2019年6月版)

荷 姿	5.45 kg (3.44 L) セット (主剤5.0 kg (2.98 L)・硬化剤0.45 kg (0.46 L))	
	2.73 kg (1.72 L) セット (主剤2.5 kg (1.49 L)・硬化剤0.23 kg (0.23 L))	
危険物表示	【主剤】	/ 【硬化剤*】
	消防庁登録記号	270021 / 270061
	引火点	254 °C / 132 °C
	消防法危険物区分 . . .	可燃性液体類 / 第三石油類
	爆発限界 (体積%) . . .	下限 -、上限 -
	有機溶剤区分	- / -
備 考	①必ず施工要領書をご確認の上、ご使用ください。 ②塗料密度、容量NV(VS)、VOC量は、製品サンプルの実測値です(無希釈)。ロット等により数値が若干変動する場合があります。	

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。